

医療用ラジオアイソトープの国産化

Ubiquitous

高速実験炉「常陽」や研究用原子炉「JRR-3」を用いて、医療用ラジオアイソトープ（RI）の国産化に向けた研究開発を進め、人々の健康な暮らしを守ります。

原子炉で製造した医療用 RI で健康を守る

医療用RIはがんの治療・診断に広く用いられていますが、ほぼ全量を輸入に依存しています。

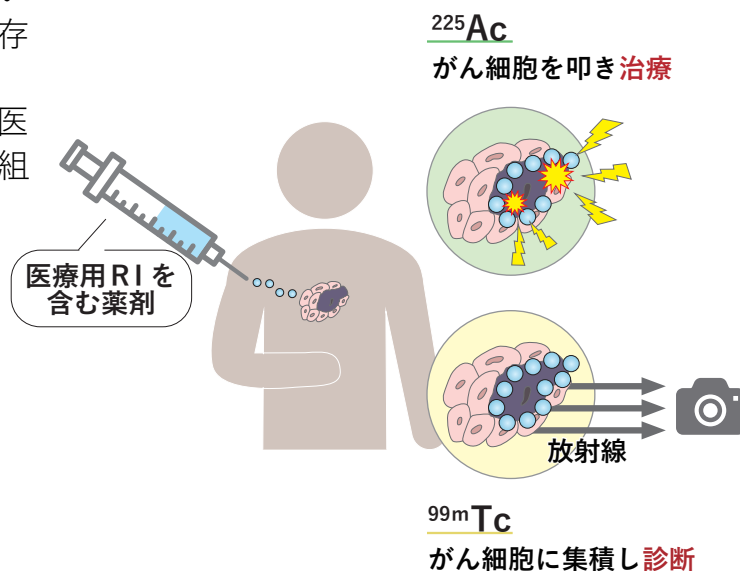
必要な時に必要な量を確保するため、医療用RIの製造に関する研究開発に取り組んでいます。

■高速実験炉「常陽」
〈治療用〉

アクチニウム-225 (^{225}Ac)

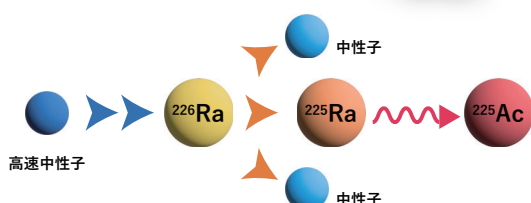
■研究用原子炉「JRR-3」
〈診断用〉

モリブデン-99 (^{99}Mo) / テクネチウム99m ($^{99\text{m}}\text{Tc}$)



高速実験炉「常陽」 ^{225}Ac の製造

「常陽」では、高速炉ならではの高速中性子を活用した ^{225}Ac 製造の技術を確認します。



研究用原子炉「JRR-3」 ^{99}Mo の製造

「JRR-3」では、中性子を利用した放射化法による ^{99}Mo 製造の技術を確認します。

